

## 王将フードサービス (コード 9936・大証 1部 [100株])

業績推移(連結) (今期から中間配を実施。予想数値は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常利益		当期利益		一株当利益	一株当配当	配当性向
		伸び率		伸び率		伸び率			
06.9(中)	23,761	+4.4	2,637	+4.7	1,458	+1,340.0	66.7	-	-
07.9(中)	24,766	+4.2	2,759	+4.6	1,473	+1.0	67.5	12.0	17.8
07.3	47,206	+3.1	5,236	+4.5	2,501	+82.3	114.6	25.0	21.8
08.3(予)	49,296	+4.4	5,570	+6.4	2,754	+10.1	126.2	25.0	19.8

### ギョウザを中核とする大衆中華料理店チェーン

**特色...**「ギョウザ」をメニューの中核に据えた大衆中華料理店チェーンで、幅広い顧客層を獲得できる“中華”業態、高いリピート率と多様な立地で出店可能な“日常食”業態であることが強み。05年7月には、国外で初めて「餃子の王将」を大連市内(中国)に開店。07年9月末現在の店舗数は504店(直営、FC合計。中国大連の3店を含む)で、このうち約60%が関西地区で占められている一方、関東地区、東海地区への出店も拡大。中でも開拓余地が多く残っている関東地区での出店を積極化している。なお、今期から中間配当を実施。

### 既存店堅調で07年9月中間期は増収増益に

**既存店売上が1.1%増に...**07年9月中間期は、新規出店効果や既存店売上の堅調な伸び、材料費低下などが寄与し、売上高は前年同期比4.2%増、経常利益も同4.6%増となった。新規出店は直営7店、FC3店で、退店はFC2店。新規出店を地域別に分けると、関西地区5店、関東地区2店、東海地区2店、北陸地区1店。既存店売上高(直営店)については前年同期比1.1%増(06年9月中間期は1.8%増)、既存店客数も同1.2%増(06年9月中間期は1.1%増)と、外食業界全体が苦戦する中、同社では堅調に推移。また、積極的な店舗改装を14店で実施した。なお、07年7月の川崎駅東口店オープンをもって、500店舗を達成している。

### 新規出店などの寄与で通期は過去最高益へ

**増収増益予想...**08年3月期の通期では、売上高が5期連続増、経常利益は7期連続増の見込みで、前期に続いて過去最高業績を更新しそう。投資効率や販売促進活動の有効性を十分に検討し、既存店の活性化を図りつつ、新店効果による業績拡大を図る。年間配当は25円を予定している。

**既存店売上高は前期比1%増へ...**会社側では今期の既存店売上高(直営店)を前期比1%増と想定している。世界的な穀物価格の高騰に伴う小麦粉、豚肉、食用油などの価格上昇の影響が予想されるものの、安易な値上げはせず、売価を堅持する方針。通期の新規出店は22店(うち直営15店、FC7店)、退店5店の計画。店舗改装についても通期で20店を計画しており、単なるリニューアルではなく、顧客層の変化への対応や、店内動線の改善を盛り込んだ大規模な改装を実施し、集客力のアップを図る。これら新店や既存店改装への投資による償却負担増が見込まれるものの、生産性向上のための取り組みなどを推進する。中国大連を含めた08年3月期末の店舗数は513店(前期末比17店の純増)となる見通し。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。